

議 会

Vol.204



私の街こまつ

市議会HP
QRコード



2022.5

Contents

1月臨時会	2
3月定例会	6
市政Q&A 代表質問・一般質問	9
予算決算常任委員会総括質疑	18
常任委員会 審査報告	20
特別委員会 調査報告	22
議決結果	23

令和4年度

当初予算全会計1,039億1,900万円を可決



作品名「安息」

小松市立高等学校芸術コース美術専攻29期生 板狩美歩 さん
(令和3年度卒業制作)

令和4年 第1回臨時会 1月28日

議案第1号 令和3年度小松市一般会計補正予算(第6号)

補正額21億4,550万円を全会一致で可決



新型コロナウイルス感染症経済対策 5億2,500万円

売上が減少した事業者に対しては、国事業と連動し「小松市事業復活強化支援金」として国の事業復活支援金の受給者に対して事業支援を行います。「泊まろう!こまつ宿泊応援割」は国の「Go To トラベル」事業再開に併せ市内の宿泊に対し、独自の宿泊割を実施します。



感染症自宅療養者支援 130万円

保健所から自宅療養の指示を受けた感染者とその同居者の生活支援を行うため、県と連携し生活に必要な食料品や日用品等の買い物代行サービス体制をつくり、市が配送に係る手数料を負担する。 など

会派自民



東 浩一 議員

農業者稲作支援費について

Q 支援費(7,000万円)の内容と目的について。

A 米価の大幅下落のため、JA小松市と連携し農業者に対し、来期の作付に必要な苗の代金の一部を支援する事業。支援額は10a当たり2,250円で、JA小松市と合わせると3,600円の支援になる。

Q 米価対策の継続支援について。

A 今回は、あくまでもこのコロナ禍への対策で御理解いただきたい。

Q 米以外で、支援費の対象農産物の拡充について。

A 米以外の作物については、新しい農作物へのチャレンジや販路拡大などを後押しする支援事業を行っているほか、様々な支援を行っている。



杉林 憲治 議員

幸八幡線の全面供用に向けて

Q 都市計画道路幸八幡線は国道8号八幡インターチェンジと大和末広線に連なる中心市街地を結ぶ重要な道路である。国の補正予算を活用して前倒しで工事を進めるとのことであるが、難航していた用地買収の見通しは。

A 計画全延長3,520mのうち、日の出町から若杉町までの延長2,570mが供用され、残り区

間は950mである。用地の取得状況は、令和2年度までに若杉町の区間は用地取得を完了している。八幡区間も約8割以上の地権者と契約しており、令和3年度中に用地契約を完了させ、令和4年度末の工事完成を目指して整備を進めている。



岡山 晃宏 議員

感染症自宅療養者支援費について

Q 実施に至った経緯について。

A 自宅療養者の多様なニーズに応える支援体制として生活支援を実施したいと考えている。

Q 感染者や濃厚接触者には保健所からの支援もあるが、本市が支援する食料品や日用品はどのようなものを想定しているか。

A 委託事業者には野菜等の食料品のほか、紙おむつ等の日用品を含めた100品目以上を対応していただく予定である。

Q お店と配送業者の選定は。

A 自宅療養に必要な食料品等100品目以上のリストを作成することなどの要件を求めて適切に事業者を選定していく。

Q 対象者に対する周知について。

A 県の保健所を通じて自宅療養者となった方に対し、リーフレットを渡すことで対象者への周知を図っていく。

Q 新型コロナ感染の症状についての不安だけでなく、風評被害を恐れている方も多い。個人情報 は厳重に扱うべきだが、個人情報の取り扱いについてはどうか。

A 小松市情報公開及び個人情報保護に関する条例に基づき取り扱う。委託業者に対しても個人情報保護の徹底を図っていく。

自民党こまつ



吉村 範明 議員

農業者稲作支援費 (7,000万円)

Q コロナ禍を含めた現状は。

A 米の需要が減少し米価が下落。生産コストも増大し農業を取り巻く環境は厳しい。

Q 支援内容と対象者について。

A JAと連携し、農業者に対して来期の作付に必要な苗の代金の一部を支援する。市に住所を有し、市内で水稻を作付している方が対象である。

Q 金額の詳細は。

A 作付面積10a当たり2,250円。JAと合わせ3,600円。

Q 1対象者当たりの支援額の目安や平均などは。

A JAと合わせ1農業者当たり15万円程度。1ha当たり3万6千円。

Q 期待される効果は。

A 小松の持続可能な強い農業の強い第一歩となる。

Q 今後も米価下落が落ち着き、平常となるまで支援すべきだ。

A 機械の更新等独自支援を検討している。農業者の所得向上に努め、強い農業を実現していく。

こまつの未来



吉田 寛治 議員

幸八幡線のスケジュールについて

Q 市民が熱望している幸八幡線について8号バイパスからイオンモール新小松、市民病院につながる大変便利な道路になると思うが、現在の進捗状況及びスケジュールは。

A 若杉区間は今年度内の完了見通しである。八幡区間は令和4年度末の工事完成を目指し、用地交渉中の地権者と今年度中の契約を完了させたい。

◆新型コロナ対策認証店推進支援金について

Q 多くの中小個人事業の方の感謝の声が聞かれる。これまでの支援事業の種類と件数、金額は。

A 令和2年度は店内の衛生環境向上のための施設整備や家賃支援等17事業2,548件、4億7,000万円を給付。令和3年度は事業継続に重点を置き、予算総額12億1,400万円の経済対策をしている。

無会派



橋本 米子 議員

感染症自宅療養者支援費

Q 自宅療養時、買い物サービスはどんな人が受けられ、またどんな物を注文出来るのか。

A 小松市民で保健所から自宅療養の指示を受けた方を含む世帯で親族等の支援を受けられない人。野菜や果物のほか、日用品を含めた100品目以上を予定。

Q 自宅療養者が急激に悪化する場合を考え、24時間往診訪問看護体制などのシステムが必要。

A 看護協会と連携し看護師を増員、県では電話等による診療を行っている。



片山 瞬次郎 議員

消雪施設整備費 (8,200万円) について

Q クラウド型遠隔制御装置の整備に至った経緯と事業メリットは。

A ISDN回線の廃止やサーバーの老朽化を勘案しクラウド型に移行。これによりスマホ等から運転管理が可能となり、操作性と利便性の向上につながる。

Q 消雪散水管改修の概要と更新場所は。

A 市道沖町八幡線の打越町交差点から若杉町南交差点の320m等を更新予定。設置後30年以上経過しており散水管等の改修を行う。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会はどなたでも傍聴できます。本会議を傍聴される場合は、傍聴者席(低層棟4階)へお越し下さい。定員は椅子席80人、車椅子席2人です。なお、児童等の入場は事前に許可が必要となりますので、希望される方は議会事務局までご連絡ください。

(※現在は新型コロナウイルス感染症対策として定員を36人にし、検温、マスク着用をお願いしています。ご理解・ご協力をお願い致します。)

委員会を傍聴される場合は、議会事務局(低層棟3階)へお越し下さい。定員は各5人です。

◆詳細につきましては、議会事務局(電話0761-24-8138)へお問い合わせ下さい。

令和4年3月定例会から大型モニターが設置され見やすくなりました。



予算決算

委員長 高野 哲郎
副委員長 川崎 順次
全議員所属

令和3年度小松市一般会計補正
予算(第6号)について

■1月補正予算額について

感染症対策や国補正に対応した社会資本整備関連を主な内容とし、補正額は一般会計21億4,550万円、財源としては、国庫補助金、市債等の特定財源7億5,505万円のほか、地方創生臨時交付金、普通交付税、財政調整基金繰入金等の一般財源13億9,045万円を充てるものです。このうち、感染症対策については、地方創生臨時交付金4億8,630万円及び予備費を財源に充てるものです。

■住民基本台帳システム運営費
(1,100千円)

国のマイナンバーカード普及促進策として実施されるマイナポイント第2弾などを受けて、市内の10郵便局でマイナンバーカードの申請サポートを実施するための費用です。高齢者などにとってカードを申請しやすい環境を整備するもので、郵便局へ業務委託したサポート体制の取組みは全国初となります。

サポートの内容は、無料での顔写真撮影や申請書作成に関する説

明・支援などで、2月16日を予定として開始されます。

一部の委員からは、マイナンバー制度について個人情報とひもづけられるようになることで情報の侵害を危惧する理由から反対する意見がありました。

■感染症自宅療養者支援費
(1,300千円)

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、保健所から自宅療養の指示を受けている感染者とその同居者の生活支援を行うため、県と連携し生活に必要な食料品や日用品等の買い物代行サービスの体制をつくり、市が配送に係る手数料を負担することです。

■読書教育推進費(500千円)
及びICT教育環境推進費(1,500千円)

法人及び個人からの寄付金を活用し、学校図書の実費やGIGAスクール構想の推進に向けて、大型ディスプレイを整備することです。

■新型コロナウイルス感染症経済
対策費(430,000千円)

新型コロナウイルス感染症対策の経済対策・事業者に対する支援の充実に係る支援金等3事業です。

「小松市事業復活強化支援金」は、令和4年1月末から申請開始予定である国の事業復活支援金の受給者に対し、個人事業主では6万円

または10万円、法人では12万円または20万円を給付する小松市独自の追加支援を行うものです。

国・県の事業復活支援金において、それぞれコールセンター等の窓口はあるものの、市に問い合わせがあった場合は、適切にそれぞれの窓口に対応できるようにサポートを求めるとの意見がありました。

「泊まろう！こまつ宿泊応援割」は、停止中の国の「新たなGOTOトラベル事業」の再開に併せて、観光需要を喚起させるため、宿泊料金が2万円以上の場合に5,000円、1万円以上2万円未満の場合は3,000円の料金割引を行う本市独自の宿泊割を実施するものです。

今回の「泊まろう！こまつ宿泊応援割」は国の「GOTOトラベル事業」再開に併せて行うものですが、再開が不透明であることから、石川県の「GOTOいしかわキャンペーン」の制度にも併せられるよう制度設計を求めるとの意見がありました。

■今江春日神社線外1路線整備費
(57,500千円)

国補正予算交付内示による増額により、新年度に計画予定の事業を前倒しで執行するものです。

今江春日神社線は、道路幅が狭く交通に影響を及ぼす区間となっていることから、早期の完成を望む声がありました。

【会派構成】 新会派結成により、会派構成は次のとおりです。

会派	所属議員
会派自民	(代表) 灰田昌典、杉林憲治、表靖二、宮川吉男、高野哲郎、梅田利和、新田寛之、東浩一、岡山晃宏、竹田良平
自民党こまつ	(代表) 宮西健吉、川崎順次、円地仁志、吉村範明
こまつの未来	(代表) 二木攻、出戸清克、吉田寛治
無会派	吉本慎太郎(議長)、南藤陽一(副議長)、橋本米子、片山瞬次郎、木下裕介

※正副議長は、小松市議会運営規約第4条に基づき、無会派となります。

議案等の採決(P23参照)	24日 閉会	16日 各常任委員会(分科会) 総括質疑	10日 各常任委員会(分科会)	9日 各常任委員会(分科会)	8日 一般質問(4人)	7日 一般質問(6人)	3月4日 代表質問(3人)	2月25日 開会	会期(2月25日~3月24日)
議員提出議案	市長提出追加議案	予算決算常任委員会	特別委員会	議員提出議案	特別委員会	議員提出議案	その他議案	市長提出議案	
3件	1件	1件	1件	1件	1件	6件	9件	15件	



予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P18参照)
主な提案内容を紹介します。(P8)

令和4年度当初予算

会計名		令和4年度 当初予算額	令和3年度 6月補正後予算額	伸び率
一般会計		469億7,000万円	489億1,410万円	▲4.0%
特別会計	国民健康保険事業	98億5,900万円	99億8,200万円	▲1.2%
	介護保険事業	103億2,530万円	101億4,030万円	1.8%
	公債管理	106億2,170万円	98億3,730万円	8.0%
	産業団地事業	18億300万円	7億5,500万円	138.8%
	後期高齢者医療	17億5,000万円	16億4,500万円	6.4%
企業会計	水道事業	35億2,810万円	35億4,070万円	▲0.4%
	下水道事業	89億1,490万円	88億4,470万円	0.8%
	病院事業	101億4,700万円	95億9,200万円	5.8%
全会計の合計		1,039億1,900万円	1,032億5,110万円	0.6%

※令和3年度当初予算は骨格予算のため、6月補正後予算との比較。

令和3年度3月補正予算

会計名	補正額
一般会計	13億7,330万円
特別会計	3億4,600万円
企業会計	5億2,720万円

一般会計の累計 570億8,876万円
全会計の累計 1,124億5,062万円

条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。
(P18～22参照)

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

なかむら えみ
中村 恵美 氏 (西町)

の選任に同意しました。



議員提出議案をチェック

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。(賛否はP23参照)

議案第1号 ロシアのウクライナからの即時撤退を求める決議

議案第2号 小松市議会委員会条例の一部を改正する条例について

議案第3号 保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書

議案第4号 漁業の持続的な成長に向けた政策の強化を求める意見書

本会議の討論

橋本議員から市長提出議案第2号、第4号、第7号及び第20号に対し、反対討論がありました。

【特別委員会が設置されました】

委員会名	公共施設マネジメント検討特別委員会
委員	◎表 靖二 ○東 浩一 竹田 良平 吉田 寛治 南藤 陽一 木下 裕介 吉村 範明
調査項目	市内公共施設のマネジメントに関する調査

市議会ホームページを公開中

小松市議会ホームページでは、過去の本会議の録画映像を配信しています。

パソコンでの視聴に加えて、スマートフォン、タブレット端末からもご覧いただけます。ぜひご利用ください。



パソコンの場合はこちらから。

スカイパークこまつ 共生の丘駐車場整備費



【事業費】 3,500万円
【内 容】 市内外から訪れる航空機ファンへのサービス向上・安全利用・近隣町内の不安解消のため、現状の駐車場を拡大します。

地産地消・食育推進費



【事業費】 300万円
【内 容】 小松産ブランド米(蛭米)に加え、旬の地元野菜(丸いも、日向源助大根など)を学校給食に提供し、地産地消を図ります。

学校給食無償化推進費



(カブッキーかまぼこがのった小松うどん)

【事業費】 1億8,800万円
【内 容】 中学3年生を対象にスタートした無償化を中学生全学年に拡大します。生徒の保護者は1人あたり年間6万4千円程度、経済的負担が無くなります。

子どもの任意予防接種助成費



【事業費】 6,500万円
【内 容】 インフルエンザとおたふくかぜの子ども任意予防接種の自己負担をほぼ無償化し、その他の任意予防接種の費用も一部助成します。

ひとつものづくり科学館 魅力アップ費



【事業費】 1億4,410万円
【内 容】 3Dスタジオ映像機器更新、ワンダーランド展示更新、エントランス等体験コーナーを設置します。

公有財産管理費 公用車をEV車へ更新



【事業費】 1,450万円
【内 容】 ガソリン車を順次EV車に更新するとともに、充電設備も設置し、ゼロカーボンシティに向けて取り組みます。

保育料の負担軽減



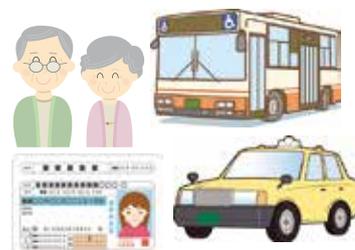
【事業費】 560万円
【内 容】 年収360万円未満相当世帯の保育料無償化を現在の2歳児のみから0歳児・1歳児にも拡大します。

九谷でおもてなし推進費



【事業費】 300万円
【内 容】 地元の九谷焼の再構築に向けて、家庭の食卓や市内企業(店舗)における九谷焼の利用を促進します。

防犯交通安全推進費



【事業費】 360万円
【内 容】 運転免許証自主返納者への返納後2・3年目の継続支援を開始します。

13人が
質問しました。

3月定例会



■ 一括質問
■ 一問一答

1	代表質問 会派自民 表 靖二 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●小松市の財政について ●指定ごみダイエツ袋の今後のあり方について ●粟津駅周辺整備について ●旧西尾小学校跡地活用事業の現状と今後の見込みについて ●F-15墜落事故後の訓練の再開について ●公共施設マネジメントについて 	10 ページ	2	代表質問 自民党こまつ 宮西 健吉 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●組織体制の見直しについて ●令和4年度当初予算にあたり11項目の施策の目的と概要について ●第6波におけるコロナ対策、経済対策は ●ごみの減量化、リサイクル率向上に向けた取組は ●育樹祭をどのように考えているか ●本市の農業支援の取組は ●西尾地区滞在交流施設の運営と概要は ●学校給食無償化について ●妊娠、出産、子育て応援について市長の想いは ●今後の小中学校の改築計画は ●都市計画道路の今後の整備計画は ●新幹線敦賀開業に向けて小松駅、また周辺の整備計画と進捗状況は 	11 ページ
3	代表質問 こまつの未来 二木 攻 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設マネジメント計画の改定 	12 ページ	4	岡山 晃宏 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●自動運転バスについて ●地域協議会の活動補助について ●コロナ禍のフレイル予防推進費について 	13 ページ
4	岡山 晃宏 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●自動運転バスについて ●地域協議会の活動補助について ●コロナ禍のフレイル予防推進費について 	13 ページ	5	吉田 寛治 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●小松市のこれからの子育て支援について 	13 ページ
6	梅田 利和 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●地域市政懇談会について ●地域公共交通について 	14 ページ	7	出戸 清克 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●加賀立国1200年事業に向けて ●環境対策について ●全国植樹祭後の活動について ●木場潟東園地整備について ●農業支援について ●農業博覧会の開催について ●国府中学校通学路の消雪装置設置について 	14 ページ
8	川崎 順次 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●Artist Collegeこまつ観音下 ●企業誘致の取組について ●学校図書館へ新聞複数紙配備を ●F-15墜落事故について 	15 ページ	9	橋本 米子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●制度改定、料金改定について ●小松市中学校教科書採択について ●F-15戦闘機墜落事故について 	15 ページ
10	東 浩一 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●環境王国の登録終了について ●尾小屋鉱山資料館メインロード全線開通に向けた進捗状況について ●旧金野・波佐谷小跡地活用 	16 ページ	11	木下 裕介 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●化学消防車の廃車について ●就学時健康診断について ●成人後の医療的ケアについて ●サイバー攻撃について 	16 ページ
12	吉村 範明 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●GIGAスクール構想について ●本市の取組について ●これまでの課題について ●これからの取組について 	17 ページ	13	片山 瞬次郎 議員	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナワクチン接種の状況 ●学校給食費の無償化事業とインフラ整備進展に伴う財政への展望 ●小松市の移住政策について ●自販機リサイクルボックスの異物混入 ●小松市の浸水区域内の避難所 	17 ページ

代表質問 会派自民 表 靖二(おもてやすじ) 議員

一括質問

全中学生への給食無償化が進む

◆小松市の財政について

Q 財政指標、経常収支比率、公債残高、財政調整基金等の動向について。

A 経常収支比率は法人市民税の動きと合わせて増減し平成28年以降91から95%台で推移。市債残高は今年度末時点で一般会計4億9千万円増、全会計では下水道や病院事業会計の減少により約19億4千万円減となる。財政調整基金は減少傾向にあり予算ベースで今年度末14億円余で地域経済活性化対策基金や減債基金と合わせて来年度末で19億円程度と推計している。

Q 事務事業を見直し、相当規模の財源を捻出したとあるが、その概要と規模について聞く。

A 市の全施策887事業を検証し、当初予算編成に反映したものは一般会計分で117件、2億2,300万円余となる。

Q 中学生全学年の給食費が無償化され、1億8千万円余の予算措置がされているが、財政上問題がないのか。加えて本施策の持つ政策的アナウンス効果について聞く。

A 事務事業の見直しや予算編成の調整等で概ね経常的・安定的に確保できる財源と見込んでいる。財政規律を保ちつつ好循環を回すための必要な先行投資として子育て世代から選ばれ移り住んでもらえる取組等が重要である。

◆指定ごみダイエット袋の今後のあり方について、市環境審議会から中間答申があったが、今後どのような対応となるのか

A 中間答申では新たな目標値やごみ袋無償配布の廃止、町内会等への支援の拡充など制度の見直しが必要であると示された。令和5年4月からの新ごみ制度開始に向けて町内会連合会や女性協議会等で改正内容やごみ減量方法を丁寧に説明していきたい。

◆栗津駅周辺整備について

Q 1億2千万円の予算が付されているが、その内容と整備スケジュールについて聞く。

A 西側では駅西広場の基本設計と用地買収等、東側では駅前広場道路の円形交差点への可能性を含めた改修社会実験を行い、改修計画を策定したい。今後は新幹線開業後の在来線の動向を注視しながら令和8年度末までに完了という思いで取り組んでいきたい。



◆旧西尾小学校跡地活用事業の現状と今後の見込みについて

A 現在は仮の基本協定書と覚書を締結しており本議会で議決されれば本協定となる。事業者の方でも施設の工事等を行っており、7月中のオープンに向けて準備を進めている。

◆F-15墜落事故は大変残念な事故であるが、殉職者への献花台を市で設置したことは評価したい。訓練の開始についてはいかがお考えか

A 訓練の再開については飛行の安全確保が最重要と考えており、周辺協や市議会の皆さんの意見をお聞きしながら判断していきたい。

◆公共施設マネジメントについて人口減少が急である昨今、公共施設の在り方について即座に取り組むべきと思うが、見解を聞く

A 今後40年間の公共建築物のインフラ更新費用は年平均100億円程度と試算しており、大きな課題となってくる。今後は機能の見直しやあり方について多様な視点で検討し、全体最適化を目指すために公共施設マネジメントを統括する部署の設置を考えている。市民生活の向上や交流を呼び込む貴重な財産として活用策等を大胆な発想で考えていきたい。



令和4年度当初予算編成について

Q 組織体制の見直しについて6部署の名称変更の要因と目的は。また、職員の人材育成の観点からの見解は。

A より分かりやすい組織名称への変更と重要課題への対応等、組織の強化を目的に見直す。年齢・性別を問わず、能力・意欲のある職員の積極的な管理職への登用等を行う。

◆ 令和4年度当初予算にあたり11項目の施策の目的と概要について

Q 当初予算編成での事業の見直しと成果は。

A 事業の統廃合など多岐にわたり検討し、経常的な財源として一般財源ベースで2億2千万円を確保できた。子育て支援をはじめ、新たな施策への展開に活用したい。

◆ 第6波におけるコロナ対策、経済対策は

A 1月臨時会では小松市事業復活強化支援金、令和4年度当初予算ではワクチン接種に係る費用等、感染防止対策費を計上。今後も市民生活の状況等を注意深く把握し、国の追加経済対策等も踏まえながら必要な対策を検討したい。

◆ 環境審議会より制度改正の答申を受けて、ごみの減量化、リサイクル率向上に向けた取組は

A 外国の方や転入後間もない方に分別アプリ登録の案内等、取り組んでいきたい。

◆ 2015年の植樹祭から7年、育樹祭をどのように考えているか

A 育樹祭誘致に向けた協議会を設置する等、体制を固め主催者となる石川県に要望していきたい。

◆ 令和3年度産の米価が60kg当たり2千円以下下落した。本市の農業支援の取組は

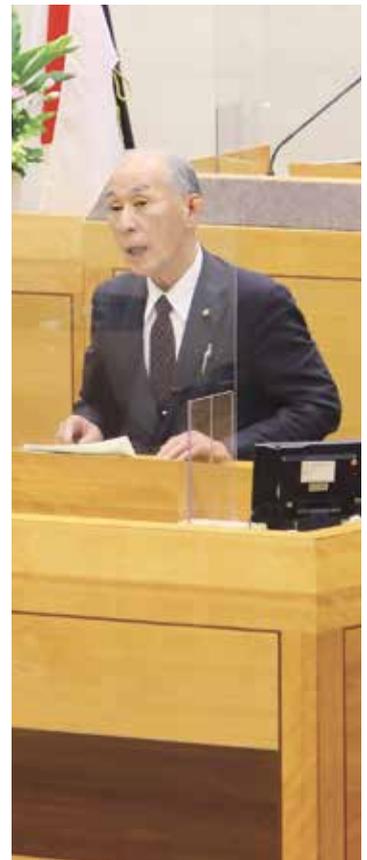
A 小松産農産物のブランド力向上とPR強化により販路拡大を図る第1次産業強化プロジェクトや、こまつ駅弁開発支援事業を展開したい。

◆ 指定管理者スーパープロジェクト社の7月開業に向けた西尾地区滞在交流施設の運営と概要は

A 全国においてレストランやブライダル事業を手掛けている同社が管理運営を行う。レストランやカフェを整備し、市民割、学生割も準備して観光客だけでなく合宿利用も推進したい。

◆ 段階的に中学生全学年に拡大。学校給食無償化について

A 中学生全学年に拡大する費用として1億8,800万円計上。事務事業の見直しや法人市民税の回復等を加味し、4億1千万円程度を経常的に確保できる財源と見込み、子どもの予防接種の無償化等をはじめ様々な施策に活用する。



◆ 妊娠、出産、子育て応援について市長の想いは

A 妊娠から子育てまで切れ目ない支援を推進し、子育てするなら小松を選んで住んでもらえるよう、様々な施策を展開していく。

◆ 松陽中学校、稚松小学校に調査費が計上、今後の小中学校の改築計画は

A 今年度、空調復旧工事は日末小、今江小、安宅中、板津中の4校、大規模改造工事は中海小と国府中を予定している。

◆ 都市計画道路の今後の整備計画は

A 市内の都市計画道路は全43路線のうち、17路線が整備済み。全体見直しから10年以上経過し、計画を精査する時期に来ている。精査に際して、各計画道路周辺の開発状況やまちづくり構想を見据えて緊急度や優先度を勘案し、整備路線の精査を行いたい。

◆ 2年後に迫った新幹線敦賀開業に向けて小松駅、また周辺の整備計画と進捗状況は

A 3月1日に駅西駐車場の供用開始。東口広場は今年度夏、完成供用予定。西口広場は東口広場の供用後に改修に着手し、駅東西広場と南口バスのりば、高架下に整備する観光交流センターは、今年度末には全面供用予定。

代表質問 こまつ未来 一木 政(ふたぎおさむ) 議員

一括質問

公共施設マネジメント計画の改定

私と出戸議員・吉田議員二名で新しい会派「こまつ未来」を、この1月に結成しました。私達が目指すのは日本の素晴らしい伝統文化を継承し、日本人としての情けと理を大切にし、強い絆を持って小松市の未来を考え、住みよいまちづくりを目標にしております。

政策提言を重視し、宮橋市長をはじめ市執行部と連携を深めるとともに侃々諤々の意見交換をしていきたいと思います。

市長は事務事業の見直しをされました。また、組織機構の見直しもされました。とても大事なことであり、今後とも継続的な取り組みを期待するものです。

Q 公共施設マネジメント計画の改定を目指している中で、芦城公園エリアという言葉がでてくるが、公園のほか、小松中央緑地、駐車場、宮本三郎美術館、空とこども絵本館等を含めて総合的な歴史文化ゾーンのようなまちづくりをしてはいかがか。

A 今後、策定した都市計画の下、2040年に向けた新しいビジョンを作成する。わくわくする未来の小松のライフスタイルやカルチャーを捉え、このエリアの将来像についてもしっかりと描いていきたい。

Q GIGAスクール構想について、メリット・デメリットを聞く。

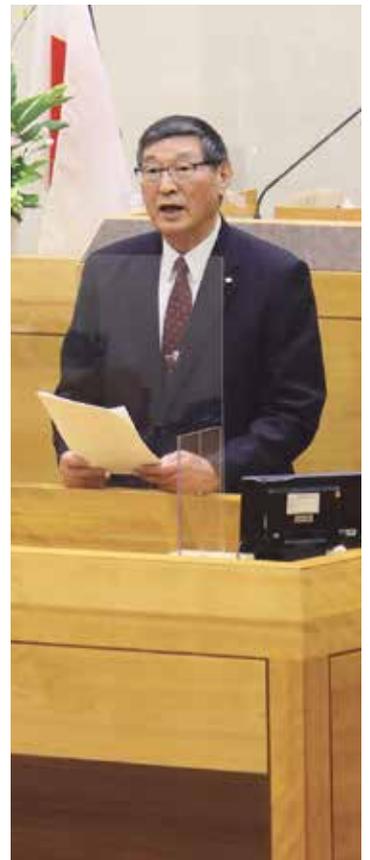
A タブレット端末を利用することで子供たちが学びの楽しさを実感でき、意欲をもつて学びに向かう姿勢や自ら学ぶという主体性の育成等がメリットである。デメリットとして、当初子供たちの活用スキルの点を挙げていたが、ICT活用について全国トップクラスの本市の先生のスキルにより、発達段階に応じた指導の工夫を行っている。

Q 橋梁、道路舗装、消雪装置の整備・維持管理について聞く。

A 橋梁：市が管理する橋梁は441橋あり、国が定める基準により、5年に1度近接目視による定期点検を実施している。路線の重要度を踏まえ計画的に修繕していきたい。

A 道路舗装：交通量の多い幹線市道約203kmにおいて路面性状調査を行っている。早急な修繕が必要とされる市道が約27kmあり、国の交付金等を活用し全面改修を計画的に実施している。

A 消雪装置：現在117か所、散水管延長約79kmが整備されている。今後は、維持管理を見据えたマネジメント、受益者負担の在り方を考えることが課題と捉えており、地域からの新設要望と既存施設の長寿命化整備の両立を図るための検討を行っていきたい。



Q ふるさと納税の状況・返礼品の売れ筋について伺う。

A 令和3年度の個人版ふるさと納税は2月末時点で3億200万円の寄附があった。企業版では、予定分も含め子ども・子育て施策等のために計700万円の寄附となる見込みである。人気の返礼品は、個別では有機野菜詰合せの定期便等であり、カテゴリー別では、お酒、お米等である。





岡山 晃宏(おかやま あきひろ)議員

一括質問

次世代型地域交通について

◆自動運転バスについて

Q 令和2年度に行った自動運転車の実証実験の成果は。

A 交通規制等を行うことなく、一般公道にて安全に走行できるということを実証できた。

Q 令和2年度、経済産業省の未来技術社会実装事業に選定されたが、具体的にどのような支援が受けられるか。

A 財政面での直接的な支援はなく、内閣府、国土省をはじめ各関係機関からの技術面、制度面からの支援が得られる。

Q 駅と空港を結ぶ自動運転バス運行への今後のスケジュールは。

A 北陸新幹線小松駅開業の令和6年春までに、営業路線の自動運転バス、レベル3の実装を目標とする。JR小松駅—小松空港間のアクセスを大幅に向上させていく。

◆地域協議会の活動補助について

Q 地域協議会の重点テーマである4事業のうち3事業の助成が来年度から補助率10/10から3/4に戻る。初期投資も多いので1年目は10/10にしてはどうか。

A 制度がスタートし3か年、重点テーマについて厚く支援した。

Q 校下連合町内会にも地域協議会と同じ補助メニューが使えようになったが内容については。

A 補助要件は、校下内の町内会に参画し、校下の団体と連携した取組であること。令和4年度は、50歳未満の方が中心に実施する活動にも、補助メニューを設ける。

Q コロナ禍で外出の機会が減った高齢者に対し、ICTの活用・医療介護と連携したサービスを始める。その内容は。

A フレイルリスクのある方を抽出し、高齢者総合相談センター職員が訪問、心身の状態等により、サービスの提供内容を判断する。又、参加者減少が顕著なサロンを選定し活動支援をする。

Q フレイル改善教室など。

吉田 寛治(よしだ かんじ)議員

一括質問



小松市のこれからの子育て支援について

Q 3回の未来型図書館の講演会及びワークショップが行われ、小松市の未来型図書館はあらゆる市民の幸せのためにあるべきで、建築も、市民が幸せになるためにどうすべきかを考えるべきとのことであった。市長に図書館基本構想策定委員会の人選、3回の講演会が終わった後の図書館に対する具体的なイメージなどを伺う。

A 市民と共につくる未来型図書館を目指しており、専門家や学識経験者、社会教育、経済、市民交流分野等有識者8名程度で組織する策定委員会を6月設置予定。専門的立場や幅広い視点から議論を行い、意見集約を図ってゆく。

Q 子育て支援は小松市民全体の大きな課題である。現在小松市が行っている施策の内容と今後子育て支援をさらに拡充していくことが必要であると思うが、市長の考えを伺う。

A 新型コロナウイルス感染症の影響で少子化、人口減少は深刻さを増し、今後は経済状況等に対応した支援拡充が求められる。令和3年度、児童1人当たり一律1万円

を支給する「こまつ子育て応援特別給付金」等実施、令和4年7月より見守り訪問と子育て情報提供、紙おむつを配達する「赤ちゃん紙おむつ定期便事業」を実施予定、更に、令和3年9月より実施の学校給食無償化は、令和4年度は中学生全体に拡大する。

Q 小松の公会堂は昭和34年に建てられた古い施設であり、市内の中高生が多く使用している。使用料が高額で不満の声も聞こえるが、中高生への補助と公会堂の今後の在り方について伺う。

A 減免制度は、市主催事業50%、共催30%、後援20%の減額、大ホールの練習等は40%の減額となる。また市内の学校等で、共催後援等演奏会活動は、内容等に応じた減額がある。受益者負担のため、使用料は現行制度で運用。補助金は「小松市未来へつなぐ音楽振興事業費補助金」があるが、令和4年度は、感染状況に応じ、検討。

今後の方向性は、公共施設マネジメント計画の方針に沿って、検討していく。



梅田 利和(うめだとしかず)議員

一括質問

地域づくりを市民の皆様とともに進めていく第一歩

◆地域市政懇談会について

Q 現在までに何か所、何回ほど、どの地域、どの校下で地域市政懇談会が開催され、主なものとしてどのような課題や意見が寄せられたか。

A 昨年12月末までに12か所、全26校下のうち14校下の方々と意見交換を行った。その中で暮らしの安心・安全やインフラ整備、教育福祉、環境など幅広い分野の意見をいただき、特に暮らしの安心・安全やインフラ整備はほぼ全ての地域で意見があった。

Q 今回上程された新年度予算、補正予算の中に、各地域や各校下での課題や意見がどの様な形となって反映されているか。

A 今回いただいた意見はすぐに対応に伝える必要な対応を行っており、来年度予算に対しても、未来型図書館やごみ出し制度、施設整備、農業の担い手育成、公共交通など様々な形で反映している。今後定期的に開催し、よりよい地域づくりを市民の皆様と共につくってきたい。

◆地域公共交通について

Q 小松市において路線バスを運行している交通事業者を取り巻く環境、そして路線バスに関する市の補助金額について。

A 全国的な傾向と同様に、利用者の長期減少傾向と採算性の悪化など厳しい状況に置かれており、市のバス事業に対する補助金は、ここ数年は約1億2千万円台、令和3年度の見込みでは、コロナ等の影響もあり約1億3,800万円を見込んでいます。

Q 小松版MaaSの令和3年度と令和4年度の実施事業は。

A 令和3年度は、停留所ごとの詳細な乗降調査を実施し、そのデータを分析しながら路線バスの再編、新しい代替交通プランの策定を進めている。4年度はプランの実施に向け事業者と連携・調整を行い路線の最適化と運行の効率化を図っていききたい。また地域の実情に応じオンデマンド交通など効果的な移動手段を確保していききたい。



出戸 清克(でときよかつ)議員

一括質問

加賀立国1200年事業に向けて

Q 整備事業やイベントについて。

A 河田山古墳群史料館のリニューアルと隣接する公園の整備のほか、令和5年に開催される国民文化祭と連携し、今年11月にはフォーラムを開催、来年10月には全国国府サミットを誘致し、国府地区を中心とした小松の歴史や文化の魅力を発信していきたい。

◆環境対策について、松枯れ対策、人工林・広葉樹林等の整備は

A 松枯れ対策として、薬剤の散布・樹幹注入、虫に強い松の植樹を行っており、人工林・広葉樹林については国の整備事業や森林環境譲与税などを活用して実施している。

◆全国植樹祭後の活動と育樹祭の誘致について

A 市民の機運醸成に努め、誘致に向けた新たな協議会等体制を固めた上で、県に要望していききたい。

◆木場潟東園地整備の進捗状況と管理は

A (仮)里山交流ハウス等3施設については令和5年春に供用

開始予定で、管理運営については県より検討中と聞いている。

◆農業支援について

Q スマート農業・AI・IoTの活用について。

A 既にGPS付田植機やICTによるハウスの管理、ドローンによる薬剤散布等活用されており、来年度はスマート農業に取り組む農業者支援制度を創設する。

◆歴史と文化と産業に加え観光と環境を重視した農業博覧会の開催の提案

A 市としても歴史等5項目を重視した政策は重要であると考えており、今後の政策立案に役立てていきたい。

◆国府中学校通学路の消雪装置設置について

Q 地下水脈の調査の実施。

A 揚水量を把握するための試掘調査の実施を再度検討したい。





川崎 順次(かわさきじゅんじ)議員

一括質問

企業誘致、市長のトップセールスで 何社から進出の申し出があったか

◆Artist College こまつ観音下

Q 当初レストラン中心のオーベルジュだったが、今回条例を西尾地区滞在交流施設条例と全部改正し、どんな事業を展開するか。

A サテライトラボとワーケーションルームを中心に民間ならではの独創的な発想で市内外から集客、滞在、交流できる施設としたい。
Q 施設運営の独立採算性についてどんな確認をしたか。

A 長期事業計画、過去数年分の法人税申告書等、数年間の赤字に耐えうる財政基盤があると確認した。

Q 事業者選定過程でどのような改善をおこなったか。

A 「小松市プロポーザル方式の実施に関するガイドライン」を作成し、業務範囲の指定、募集手続き等を盛り込んだ。

◆企業誘致の取組について

Q 正蓮寺、花坂、安宅新の状況は。

A 正蓮寺地区は令和4年度の早い段階で進出企業の決定と完売に向け期待できる。花坂地区は用地取得に努め、安宅新地区は県内外から8社の引き合いがあり、継続的に交渉を進めていく。

に交渉を進めていく。

Q 底地に民地があり売れるものではない正蓮寺産業団地の取扱は。

A 用地取得に係る訴訟手続きは、順調に進めば5月中には用地取得が完了する見込み。

Q 新産業団地適地調査費とは。

A 企業の投資の好機を逃さず、戦略的な企業誘致を展開するため、新たな候補地選定調査を行う。

◆学校図書館へ新聞複数紙配備

Q 人から受けた恩、道筋、人間的の向上につながると思うが、本市では、地元紙を中心に全ての学校で複数紙を配備している。

◆F-15墜落事故について

Q 亡くなった方に心よりご冥福をお祈り申し上げます。全てのF-15の点検を行い不具合なしと説明を受けた。現下の国際情勢等を踏まえれば飛行訓練は再開すべきと思うが市長の考えは。

A 訓練再開は飛行の安全が最重要課題であり、市議会や周辺協の意見を頂き、適切に判断したい。



橋本 米子(はしもとよねこ)議員

一括質問

小松基地所属F-15戦闘機 墜落事故について

◆制度改定、料金改定について

Q 国民健康保険税均等割の軽減策はコロナ禍が続いており、18才未満の子供まで続けて頂きたい。

A 令和4年度以降に実施される様々な子育て支援策等を総合的に勘案した結果、国の制度に移行すべきと判断した。

Q 後期高齢者医療制度の2割負担は受診控えで健康状態の悪化を招く。見直しの概要と対家人数は。

A 一定以上の所得のある方の窓口負担が1割から2割となり、全体の2割、3千人が対象となる。

Q 児童手当特別給付の廃止は子育てを社会で支える理念を後退させ、少子化対策としても逆行する。

A 待機児童の解消と、安定的な財源確保のため、国において決定。

◆小松市中学校教科書採択について

Q 教科書採択にあたっては、現場の教育関係者等の選定委員会の声が活きるシステムづくりが必要。

A 採択権者である教育委員会の判断と責任において公平かつ適正に採択を行った。

Q 閲覧期間が2週間のみであり、教科書展示期間の延長を求め

A 法令に基づいた開始時期、期間で実施している。

Q 市議会と同様に教科書採択も市民が傍聴可能な公開の場に。

A 会議は、文部科学省通知に基づき総合的に判断し開催している。

◆F-15戦闘機墜落事故について

Q 尊い人命が失われた重大事故であり、事故原因の究明が必ずや要だ。

A 事故を受け、小松基地に対し、原因の早期究明と再発防止を求めた。訓練再開は飛行の安全確保が最重要課題となり、適切に判断していきたい。



事故原因の究明が求められるF-15戦闘機



東 浩一(ひがしこういち)議員

一問一答

環境王国こまつ・尾小屋 マインロード・小学校跡地活用

◆環境王国の登録終了について

Q 現在どのような形で発信しているのか。

A 市ホームページを中心に、環境王国こまつオフィシャルサイト、またフェイスブック、インスタグラム等のSNSや環境王国親善大使を通じ、主にウェブ媒体から農産物や里山活動について情報発信を行っている。紙媒体では、こまつもんブランドブックや小松とまとのスマイルレシピブック、また環境王国こまつ里山通信等で農産物、加工商品、里山地域の情報発信を行っている。

Q 新たに加入を検討している農林振興団体とは。

A 現在30の自治体が加盟している農村文明創生日本塾という団体。農業者の所得向上を念頭に、より高いレベルを目指して、里山に根差した形での農産物のブランド化、交流人口拡大を図っていく。

Q 食へのブランドのイメージや、農業者への不安や負担を与えないことはないので、環境王国こまつ

のネームバリューを生かしたブランド育成は継続に値するものであり、継続すべき。

A 今後は本塾の加入により、これまで以上のレベルアップを図り産業に寄与する取組を推進していきたい。

◆尾小屋鉱山資料館マインロード全線開通に向けた進捗状況について

A 改修プランの策定、及び必要な財源確保に努めているところ。安全かつ長期的な維持管理が必要と考えている。

◆旧金野・波佐谷小跡地活用

Q 今後のスケジュールについて。

A 公共施設マネジメントの観点から、別の公共施設としての利用のほか、公共施設としての利用を廃止し民間へ貸付け、譲渡するという考え方がある。民間活用をベースに幅広い提案を求めていく。



木下 裕介(きのしたひろゆき)議員

一問一答

複雑・多様化する災害へ 消防装備の充実を

◆化学消防車の廃車について

Q 廃車の時期と理由は。

A 時期は平成31年3月。理由は老朽化が著しく、走行に支障を来していたため。

Q 新しく購入する考えは。

A 財源を確保し、車両更新計画に基づいて検討していく。

◆就学時健康診断について

Q コロナ第6波で未就学児にも感染が広がっている中、就学時健診を学校で行う理由は。

A 学校保健安全法とその法に基づき本市が定めた規則、そして教育的な観点から各学校での実施をお願いしている。

Q 学校での健診はその業務を教員が担っている。これにより、当日児童が受けるべき授業がカットされている。そこで教育委員会からの人的支援を求めるが見解は。

A 全ての学校で人的支援を含めて支援体制をきちんと整えていく。

◆成人後の医療的ケアについて

Q 18歳以降の医療的ケアが必要な方の支援をどう進めていくのか。

A 訪問看護、短期入所などの障害福祉サービスを利用しながら生活を送って頂いているが、今後当事者とその家族のニーズに応じた支援を進めていきたい。

◆サイバー攻撃について

Q 市民病院の対応策は。

A 定期的な現状把握とシステム等の整備を行い、安心・安全な医療提供体制の継続に努めている。

Q 市役所の対応策は。

A 3つのネットワークをそれぞれ分離し、対策ソフトを導入しているほか、攻撃対象となりやすいインターネット系は、県のセキュリティクラウドを通して、常に保護、監視している。

Q 職員の教育、研修体制は。

A 情報取扱いの職務や役割に応じた研修を行っている。今後、サイバー攻撃被害を想定した訓練の実施を考えていく。



吉村 範明(よしむらのりあき)議員

一問一答

GIGAスクールについて

◆GIGAスクール構想について

Q 構想の目的は。

A 教育を知識伝達型から、学びを人生や社会づくりに生かす力の育成へシフトすること。

Q 全国の端末の整備状況は。

A 98・5%の自治体が今年度内に整備完了予定。

Q 本市は。

A 令和2年12月末に小中学生1人1台タブレットが整備済。

◆本市の取組について

Q 指導のための教員研修は。

A 40回の研修と授業実践モデルや動画マニュアルの作成。

Q どのような授業を行っているのか。

A 子供たちが主体的に教科書等を収集、考察し、課題に取り組む自立した学びの授業を行う。

Q 宿題等の取り組みは。

A 自宅で授業を振り返り、学びを深める、A-1型学習ドリルでの補充的な学び等。

Q 各家庭での端末の使用やネット等の環境は。

A ルーター貸与や準要保護世帯の通信料支援等。

◆これまでの課題について

Q 一年経ち授業での課題は。

A 生徒の情報格差が課題、日常的なICTの活用が必要。

Q 低学年の対応は。

A 鉛筆での学びも重要、ICT活用は長い目を持つことが大切。

Q 校外活動等での故障について修理の件数とその対応は。

A 令和3年度現在修理件数は119件、不慮の落下が多く、この場合修理費は、教育委員会が負担。

◆これからの取組について

Q 先進的な事例は、また、新たな授業形態はあるのか。

A プロジェクトチームの指導モデル作成等組織的に取り組んだ。

Q 急ピッチに進めてきたように感じる。今一度現場での意思疎通を図るべき。

A 早急な事業だったが、今後とも家庭と子供と学校と地域が一体で取り組んでいかなければと思つた。



片山 瞬次郎(かたやましゅんじろう)議員

一問一答

要配慮者への避難助成

◆新型コロナワクチン接種の状況

Q 3回目の進捗と小児への接種状況は。

A 2回接種済の18歳以上を対象に実施。5歳から11歳の小児接種は3月からスタートする。

Q 副反応の発生状況は。

A 小児の副反応の疑いは現在41件、大半は軽いのと報告。

◆学校給食費の無償化事業とインフラ整備進展に伴う財政への展望

Q 中学校学校給食費の無償化と市の事業見直しは。

A 見直しにより、2億2千万円余を確保、予算編成や法人市民税の回復を見込、計4億1千万円を定期的に確保可能財源と見込む。

Q 永続的な支出での財政に与える影響は。

A 継続確保見込の財源で実施するので、継続的に事業実施できる。

Q 今後の新規インフラ整備進展に伴う財政への展望は。

A 市債を財源にできない経費で、実質公債費比率、将来負担比率に影響はない。

◆小松市の移住政策について

Q 小松市の利点と取組への所感。

A 日本航空(株)とワーケーションやデュアルライフ(2拠点生活)促進への連携を促進していく。

◆自販機リサイクルボックスの異物混入

Q 異物混入調査と認識は。

A 事業者が自主的に設置、異物の割合は把握していない。生ゴミなど事業系一般廃棄物は、エコロジパークこまつで受入れ可能。

◆小松市の浸水区域内の避難所

Q 浸水想定区域とは。

A 千年に1回程度降る大雨により、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域。

Q 当区域内避難所の実情と対策は。

A 指定避難所は、40・3%が浸水想定区域内に立地。水害時開設避難所17か所。内、1階の浸水想定が14か所。要配慮者の、宿泊施設に避難のため助成制度を創設。警戒レベル3以上の地域で宿泊代金の3分の2、1人1泊5千円を上限とする。

予算決算常任委員会総括質疑

◆会派自民◆



竹田良平 委員

◆いしかわ百万石文化祭2023開催準備費

500万円の予算について、令和4年度の取組は。

リードこまつや博物館の特別展等のプレイベントを予定。

こまつ文化の祭典「リードこまつ」について、百万石文化祭と連動した取組は。

来年度は県内外の文化団体を小松に招き文化交流、地域間交流を考えている。

◆学校給食無償化推進費

今後子育てしやすい街として、市の人口増にどうつなげていくか。

「子育てするなら小松」を積極的にアピールし、定住人口の増加につなげていきたい。

無償化により質が落ちることのないようどう考えていくか。

物価上昇等に備え基金を活用するなど質の確保に努めたい。

◆はたらき障がい者支援費

令和4年度、新たに開始される企業向け講演会について。対象企業の選定は。

調整中だが、障がい者雇用を検討している市内企業や就労支援事業者など広く参加を募っていききたい。

働く場所の選択肢が広がるよう期待されるが、講演会を今後どのように進めていくか。

幅広い周知を図り、オンライン等も含めて多くの方が参加できるように工夫していきたい。



東浩一 委員

◆次世代型地域交通推進費

小松版Maas(Mobility as a Service)路線バス運行とオンデマンド交通の効率化等について。

バス路線の廃止や大幅な減便となる地域にはオンデマンド交通の導入など、生活者や来訪者に利便性の高い移動手段を構築したい。

小松版Maasを、どのように進める予定なのか。

◆森林環境保全推進費

本市における活用状況、積立金について。

間伐や緩衝帯の整備、木育活動での活用のほか、かが森林組合でも床材や家具等で広葉樹の利用を工夫、それに向けた普及啓発、教育活動も進めている。

基金残高は令和3年度末で5,255万3,000円の見込みである。

◆ゼロカーボンシティ実現に向けた家庭への支援・取組

新たな支援・取組について。

既存住宅の小規模な断熱窓導入に対して補助率4分の1、限度額5万円の補助制度を創設するものがあり、ゼロカーボンアクション30は、広報こまつ等で紹介するなど取組を周知していきたい。

◆公用車をEV車へ更新

給電設備の設置場所や台数、市民の利用などについて。

地域住民の移動環境の維持、向上のため、利用者が少ない区間の運行を見直し、予約制タクシーの運行を検討している。交通事業者、地元関係者とも調整をしており、地域住民の利便性向上のため新たな仕組みの早期運行を目指したい。

◆自民党こまつ◆



川崎順次 委員

◆栗津駅周辺整備費

栗津駅東西の連絡通路が必要で、国・県との連携が重要。今後どのように整備するか。

駅西側では自由通路の乗降口となる広場整備、駅東側では駅前広場の優先道路が不明確な交差点の安全性の向上のため改修を計画。令和8年度末を目途に完了したい。

駅西広場は楸コマツ、串工業団地、大学等があり加賀市との連携も必要だ。栗津駅周辺地域住民や地元企業と連携し、利用客を増やすため意見交換をしてはどうか。

駅西広場や駅東側の広場の道路改修については、駅の利用実態を把握し、今後の利用者増加等を見据え、最終的に駅西側の未利用地の活用も視野に周辺町内会、温泉、工業団地等の意見を取り入れ計画に反映したい。

◆こまつの未来◆



二木攻 委員

◆無会派◆



木下裕介 委員

任意事業費と保健福祉事業費の2区分の説明を問う。

市民税課税者は任意事業対象外のため、保健福祉事業を創設。

介護用品支給は大切だ。自己負担1割導入の理由を問う。

国の方針として、介護用品支給事業の廃止・縮小に向けた見直し期限が令和5年度末と示されていることから、1割負担を導入するものがある。



片山瞬次郎 委員

保健衛生総務費・小松准看護学院の移転整備に係る補助金

小松の医療機関等の看護師の総数は。

医療機関、介護施設の看護師は、令和2年末、1,544人。

看護師人材の育成支援に対する考えは。

小松准看護学院の存続は重要で、教育充実のため支援していく。

保健衛生総務費・運営費補助金を増額

運営費の概要と補助金の市の考え方。

教職員給与、維持管理費等年約4千万円。安定運営のため、補助金を恒常的に継続していく。

◆こまつまるごと観光物産推進費

観光物産ネットワークの設立の時期および経緯について。

本市の観光物産資源の開発や振興、観光客の誘致の促進等により事業の健全な発展を図り、地域経済の活性化と地域文化の振興に寄与する事を目的に平成25年10月1日に設立。

事業内容と今後の展開について。

アンテナショップの運営管理、ふるさと納税の返礼品取扱、観光資源開発事業を行っている。収益事業は事業内容を見直しながら、補助金の適切な対応に努めたい。

企業誘致推進費

予算内訳と今後の見通しは。

企業立地助成金は6千万円減の1億円、企業誘致活動事業費は100万円増の300万円を計上。新たに造成予定の企業もあり、その際は補正対応したい。



◆全ての児童生徒に学びの機会を(ステッフルーム支援費)

児童一人一人の様々な悩みや困難さに寄り添い、自己を大切にしている現状を少しずつ解決できるように支援している。

旧金野、波佐谷小をアニマルセラピーの拠点施設として利用できないか。

公有財産の有効活用の検討にあたっては、民間活用をベースに公・民間わず幅広い提案を求めたい。

駅の無人化について加賀市は大聖寺駅、動橋駅を市が運営しているが、本市はどのように検討し、整備するか。

現在のところ、大聖寺駅のような利用は未定である。2024年春には新幹線が開業し、在来線は1Rいしかわ鉄道に経営分離される。地域の方の意見等があれば、必要に応じて活用方法等を検討したい。

次世代型地域交通推進を粟津駅発着路線バスにも出来ないか。また、シェアサイクルの設置は。

路線バスの再編、地域の実情に合った代替交通の導入、財政負担のバランス等を考慮した再編プランを策定し、小松版Maasを構築したい。粟津駅にもシェアサイクルを導入する予定である。

◆こまつまるごと観光物産推進費

観光物産ネットワークの設立の時期および経緯について。

本市の観光物産資源の開発や振興、観光客の誘致の促進等により事業の健全な発展を図り、地域経済の活性化と地域文化の振興に寄与する事を目的に平成25年10月1日に設立。

事業内容と今後の展開について。

アンテナショップの運営管理、ふるさと納税の返礼品取扱、観光資源開発事業を行っている。収益事業は事業内容を見直しながら、補助金の適切な対応に努めたい。

企業誘致推進費

予算内訳と今後の見通しは。

常任委員会 審査報告

予算決算

委員長 高野 哲郎
副委員長 川崎 順次
全議員所属

議案第2号 令和4年度小松市
一般会計予算について

■学習等供用施設建設費 (23,700千円)

今江北、荒屋、浮柳、小島地区の施設改修のための設計業務に係る費用等に関する助成費用です。
地元負担が少しでも安くなるよう国への要望を求める意見がありました。

■新幹線小松駅開業プロモーション 費(18,000千円)

能美市と連携して2024年新幹線小松駅開業のプロモーションを展開する費用です。
加賀市とも連携を深めて実施してはどうかという意見がありました。

■次世代型地域交通推進費 (37,000千円)

持続可能な地域公共交通体系を構築する費用です。
地元との協議を重ね、前向きに取り組んでほしいという意見がありました。

■住民基本台帳システム運営費 (24,000千円)

住基ネットにオンラインで繋がる端末のリース料等のほか、郵便局10局でマイナンバーカード申請サポートを行う委託料等に要する費用です。

■防災体制強化費 (45,200千円)

避難所に配備してある防災備蓄物品の購入や更新等に係る費用です。
備蓄物品の保管について適正管理することや、備蓄倉庫等を整備することも検討してほしいという意見がありました。

■保育士等処遇改善臨時特例費 (76,000千円)

保育士等を対象に収入を3%程度引き上げるための措置で、全額国庫補助の対象であり対象期間は令和4年9月までです。国の通知では、10月以降は私立こども園等運営費として、処遇改善の効果を継続していくとのことです。

■予防接種費(312,200千円)

予防接種法に基づく定期予防接種等に係る費用です。令和4年4月から子宮頸がんワクチンが積極的勧奨になり、小学校6年生から高校1年生に個別通知が再開されます。
機会を逃した方に適切に通知が届くよう求める意見がありました。

■学校給食無償化推進費 (188,000千円)

中学3年生を対象に開始した学校給食無償化を中学生全学年に拡大する費用です。
所得制限を設けて実施すべきではないかという意見や財政の健全性を保持するよつことの意見がありました。

■ひととものづくり科学館魅力アップ費(144,100千円)

3Dシアター映像機器などの更新等に係る費用です。
集客アップのため、様々な取組を

行つて欲しい等の意見がありました。
■こまつまるごと観光物産推進費
(77,900千円)

こまつ観光物産ネットワークの活動運営補助費等です。
空の駅こまつ、空カフェ等はコロナウイルス感染症の影響を受け、売り上げが大きく減少しています。
市の観光や物産を総合的に勘案して、現実に即したあり方を早急に検討すべきとの意見がありました。

■加賀国府こまつ歴史再発見費(1,400千円)及び加賀国府こまつ歴史の里整備費(105,500千円)

加賀立国1200年に向けた調査研究・魅力発信及び国府関連の施設等環境整備事業です。
国府の全体像がイメージできるような展示改修を行うよう求める意見がありました。

■末広陸上競技場改修費 (186,000千円)

日本陸上競技連盟第2種公認更新に伴う改修工事費等です。
全国規模の大会や多くの観客が誘致できる大型スタジアム等の施設整備に取り組んでほしいと求める意見がありました。

■労働者福祉推進費(3,000千円)

労働関係団体補助金及び育児・介護休業取得支援事業費等です。
申請が例年少ないので積極的にPRしてほしいとの意見がありました。

■小松市再生可能エネルギー設備設置補助金(6,300千円)

住宅用太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を導入される方への補助制度です。また、「ゼロカーボンアクション30」は、「日常生活の脱炭素行動とメリット」を整理したものであり、2050年のゼロカーボンシティの実現に向け取り組んでいくとのことです。

■栗津駅周辺整備費 (117,000千円)

駅西広場整備にかかるとる基本設計費及び用地取得費です。
鉄道管理者や県との関係を強固にしながら、早期着工に向け、引き続き取り組むよう求める意見がありました。

議案第4号 令和4年度小松市介護保険事業特別会計予算について

■家族介護用品支給費 (18,300千円)

市民税非課税者に対する助成制度であり、継続助成の場合は、事業の廃止・縮小に向け方策を検討することが国の要件であり、方策として1割負担を導入することです。
利用者への配慮から、国に事業継続の働きかけを行つてほしいという意見がありました。

議案第7号 令和4年度小松市後期高齢者医療特別会計予算について

後期高齢者医療特別会計について歳入歳出の予算額は17億5,000万円であり、対前年度比1億500万円の増加となります。被保険者数は対前年度比5.49%の増加で17,073人となる見込みです。

総務企画

委員	委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
新田	二木	東	吉村	梅田	円地	橋本	灰田
寛之	攻	浩一	範明	利和	仁志	米子	昌典

■議案第20号 小松市一般職の職員
の給与に関する条例等の一部を改
正する条例について

令和3年の人事院勧告による国家
公務員の給与改定に準じて本市職員
等の給与を改定するもので、令和4
年6月の期末手当にて調整及び減額
するものです。

支給月数は一般職で▲0・15月、
特別職・議会議員で▲0・10月、会
計年度任用職員で▲0・05月分とな
ります。一部の委員からは、一定水
準を維持するため職員の手当支給月
数の引き下げに反対する意見があり
ました。

■議案第21号 小松市職員の特殊勤
務手当に関する条例の一部を改正
する条例について

消防の救急救命士の処遇改善を図
るもので、医師の指示のもと救急現
場で特定行為を行った場合に、特殊
勤務手当として1回あたり500円
を加算し支給するものです。

件数は年間で約160件あるとの

ことで、今後の救急救命士の救命率
の向上に期待するとともに更なる処
遇改善を求める意見がありました。

■小松市と日本航空株式会社との包
括連携協定の締結について

特産品の活用やワーケーション等
の推進、公立小松大学のインターン
シップなど、さらなる連携の強化や
地域活性化の推進に資することを目
的に、包括連携協定を締結するもの
です。

双方にメリットがある内容を主眼
において進めてほしいという意見や
JALの持つ発信力を本市のPRに
積極的につなげてほしいという意見
がありました。

■令和3年度小松市「やさしい職場
認定」表彰について

労働環境の改善、雇用問題の解決
等に積極的に取り組む事業所を表彰す
ることで、その取り組みの一層の発
展を図り本市の労働環境の改善に寄
与することを目的に行っている事業
です。今年度は3つの事業所が表彰
されます。

表彰されることで、市から受けら
れる補助制度の限度額が増額される
などの具体的なメリットもあり、今
後は幅広い周知を行うなど取り組み
を広げてほしいとの意見がありまし
た。

福祉文教

委員	委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
杉林	竹田	木下	高野	出野	宮西	宮西	表
憲治	良平	裕介	哲郎	清克	健吉	靖二	

■令和4年度の奨学生の決定につい
て

小松市の奨学金支給制度について
は、小松市奨学金支給条例に基づき、
経済的理由により高等学校等に進学
困難な学生に対して奨学金として年
額5万円を支給するものです。小松
市奨学金支給審査委員会において、
令和4年度の奨学生として21名が決
定したとのことです。

■新型コロナウイルス感染症への対
応について

これまでの国・県・市の動向や対
応についての報告を受け、県におい
ては、感染不安を感じる無症状の県
民を対象にPCR検査等を無料で実
施しており、期間が3月31日まで延
長されたとのことです。また、5歳
から11歳のワクチン接種について、
重症化リスクの高い基礎疾患のある
児童に優先的に接種を進め、その他

の児童に対しては3月7日より順次
接種通知を送付しているとのことで
す。追加の3回目接種についても、
2回目接種後6カ月の間隔を空けて
接種通知を順次発送中との報告を受
けました。市においては引き続き感
染予防対策の周知徹底を図ってい
くとのことです。

■令和3年度第2回小松市介護保険
事業計画等策定委員会の開催状況
について

コロナ禍であり、策定委員会は書
面開催され、第8期の評価指標の目
標達成度と事業計画の主要施策の
実施状況について審議し、了承され
たとの報告がありました。策定委員
会委員からは、高齢者の移動手段に
関する課題や地域共生による介護予
防の定着が必要との意見が出された
とのことであり、出された課題に対
して今後検討していくとの報告を受
けました。

重点施策の一つである排せつケア
に対する支援策に関連して、性別を
問わず全ての高齢者が安心して外出
できるよう、公共施設の男性用トイ
レに排せつに係る衛生用品を捨てる
ことができるよう配慮を求める意見
が出されました。

経済建設

委員長	宮川 吉男
副委員長	岡山 晃宏
委員	吉田 寛治
委員	南藤 陽一
委員	吉本慎太郎
委員	片山瞬次郎
委員	川崎 順次

■議案第18号 西尾地区滞在交流施設条例について

本条例は、令和2年12月に制定したArtist Collegeこまつ観音下条例の全部を改正するものです。これにより、改正前に見通しが立たず、明記されなかった開館時間、使用料が明記されます。学生利用の減免措置は、指定管理者と協議し、規則等に明記することですが、学生が利用しやすい料金設定についてもPRしていくよう求める意見がありました。

■議案第19号 小松市墓地等の設置及び管理等に関する条例について

納骨堂、合葬墓の新設に伴い、小松市墓地条例、小松市墓地公園条例と統合し、本条例を制定するものです。納骨堂、合葬墓は令和4年5月募集、令和4年7月オープン予定で、今回の条例改正で開館時間や使用料等が定められます。市民の期待や関心も高く、オープン後の活用に期待

します。

■注射器の漂着について

3月8日に小松海岸でロシア語表記の注射器等が発見されました。今後も海岸の調査を継続して行うとのことですが、徹底した注意喚起を行うよう求める意見がありました。投棄した国が判明した場合は国同士の問題でもあり、県や国にも強く訴えていくよう求める意見がありました。

■環境ルネッサンス(環境王国)からの脱退について

平成23年10月に「環境王国」に認定され、里山地域発展に取り組んできました。特に木場湯は全国植樹祭が開催され、「環境王国こまつ」を全国にアピールしました。今回、更なる農業者の所得向上の実現に向け、より実践的な活動に取り組む「農村文明創生日本塾」へ加入することです。

脱退前に、地元農業への影響の精査をすべき、2つの団体を並行加入してはどうか、との意見がありました。また、新しいことに挑戦するのは良いこと、前進していったほしいとの意見もありました。

なお、今回の案件について、担当部署の事前の説明がなかったため、今後、重要な案件についての丁寧な説明を求めました。

特別委員会 調査報告

小松基地・空港対策特別委員会

委員長	灰田 昌典
副委員長	梅田 利和
委員	新田 寛之
委員	高野 哲郎
委員	片山瞬次郎
委員	二木 攻
委員	川崎 順次

■小松基地所属F-15戦闘機の墜落事故について

この事故は、1月31日午後5時30分に小松基地所属のF-15戦闘機が小松飛行場を離陸した直後に日本海に墜落したものです。

墜落したF-15は、飛行教導群所属の複座機であり、最精鋭のパイロット2名が搭乗していました。殉職されたお二人のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様には哀悼の意を表します。

■小松基地の飛行訓練再開について

先般、基地司令より訓練再開の意向が示され、航空自衛隊は事故後、全てのF-15に特別な点検を実施し、基地では3月1日に完了し、パイロットには空間識失調への対応を含めた安全教育を行い、飛行の安全確保を徹底したとのことです。

本委員会では委員会を2度開催し重点的に協議しました。委員が

らは、国際情勢の緊迫化及び、訓練中止期間の長期化によるパイロットの練度低下等の懸念から、訓練再開を求める意見が多数を占め、協議の結果、国防の重要性に鑑み、訓練再開の容認を決定した次第です。その後、3月10日に市長より訓練再開に対し理解する旨が表明され、3月11日基地は事故発生後取りやめていた訓練を39日ぶりに再開しました。また、夜間訓練も3月22日から実施しています。

防衛省におかれましては、速やかな事故原因の究明と地域住民への丁寧な対応を求めます。

このような悲しい事故が二度と繰り返されないよう、再発防止を強く求めます。

■スカイパークこまつ共生の丘駐車場整備費(35,000千円)について

駐車を既存の56台から50台分を増設して106台に拡張するために要する費用であり、令和5年3月に完成する予定とのこと。

■航空プラザについて

航空プラザの昨年4月から本年2月末までの入館者は約7万人であり、新型コロナウイルス感染症の影響で例年に比べ、減少する見通しであるとのこと。

◆3月定例会の議決結果◆

■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案 (12件)	第3号 令和4年度小松市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	第5号 令和4年度小松市公債管理特別会計予算	//
	第6号 令和4年度小松市産業団地事業特別会計予算	//
	第8号 令和4年度小松市水道事業会計予算	//
	第9号 令和4年度小松市下水道事業会計予算	//
	第10号 令和4年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算	//
	第11号 令和3年度小松市一般会計補正予算(第7号)	//
	第12号 令和3年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
	第13号 令和3年度小松市公債管理特別会計補正予算(第2号)	//
	第14号 令和3年度小松市産業団地事業特別会計補正予算(第1号)	//
	第15号 令和3年度小松市下水道事業会計補正予算(第3号)	//
	第16号 令和3年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第3号)	//
条例案 (8件)	第17号 小松市部設置条例の一部を改正する条例について	//
	第18号 西尾地区滞在交流施設条例について	//
	第19号 小松市墓地等の設置及び管理等に関する条例について	//
	第21号 小松市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第22号 小松市土地開発基金条例の一部を改正する条例について	//
	第23号 小松市温泉施設整備基金条例の一部を改正する条例について	//
	第24号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	//
第25号 小松市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	//	
その他議案 (7件)	第26号 財産の取得について	//
	第27号 市道路線の廃止について	//
	第28号 市道路線の変更について	//
	第29号 損害賠償の額を定めることについて	//
	第30号 指定管理者の指定の変更について	//
	第31号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	//
	第32号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議員提出議案 (4件)	第1号 ロシアのウクライナからの即時撤退を求める決議	可決
	第2号 小松市議会委員会条例の一部を改正する条例について	//
	第3号 保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書	//
	第4号 漁業の持続的な成長に向けた政策の強化を求める意見書	//

■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議案名	会派自民				自民党こまつ			こまつの未来		無会派			議決結果										
	灰田 昌典	杉林 憲治	表 靖二	宮川 吉男	高野 哲郎	梅田 利和	新田 寛之	東 浩一	岡山 晃宏	竹田 良平	宮西 健吉	川崎 順次		円地 仁志	吉村 範明	二木 攻	出戸 清克	吉田 寛治	橋本 米子	片山 瞬次郎	木下 裕介	南藤 陽一	
予算案 (3件)	第2号 令和4年度小松市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	第4号 令和4年度小松市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	第7号 令和4年度小松市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
条例案 (1件)	第20号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決

※吉本慎太郎議長、南藤陽一副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。

※吉本慎太郎議長は、採決には加わりません。

予定 6月定例会の日程

※日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2 本会議(開会)	3	4
5	6 議会運営委員会	7	8	9 一般質問	10 一般質問	11
12	13 常任委員会(分科会)	14 常任委員会(分科会) 特別委員会	15 特別委員会	16	17 予算決算常任委員会 総括質疑 常任委員会(分科会)	18
19	20	21	22 予算決算 常任委員会	23	24 議会運営委員会 本会議(閉会)	25
26	27	28	29	30 傍聴可能なもののみ記載	7/1	2

6月2日には市長による提案説明、6月9・10日には市政に対する一般質問、6月17日には予算案等への質疑、6月24日には委員長報告等が行われます。
小松市政について、活発な議論が行われますのでぜひご覧ください。



小松市
イメージキャラクター
カブッキー

☆議会傍聴 ☆テレビ小松 ☆ホームページ(議会生中継、録画配信)
<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 東 浩一
副委員長 岡山 晃宏
委員 竹田 良平
吉田 寛治
木下 裕介
吉村 範明



いつも議会だよりをご覧頂きましてありがとうございます。
議会だより編集委員会は、議会の内容をお知らせするだけでなく、市民の皆様にとって議会が身近に感じてもらえるよう委員一同、意見を交わしておりますが、全ての内容を掲載することが出来なかったり、難しい言葉があったりと、皆様にとって分かりやすい内容かという点まだ課題があると思います。是非皆様のご意見を賜りますようお願い申し上げます。
また、小松市議会のHPでも議事録や動画配信など様々な情報が掲載されていますのでご覧ください。
終わりに、今議会ではロシアのウクライナ侵攻に対して、「ロシアのウクライナからの即時撤退を求める決議」を可決しました。早期の終結と世界平和を切にお祈り申し上げます。(岡山 晃宏)

働くみなさまを応援します!



〈ろうきん〉は自治体と提携し、
低利な融資をご用意しております!

無担保

勤労者小口資金融資制度
勤労者育児・介護休業資金融資制度

詳しくは、北陸ろうきん 小松支店 TEL 0761-22-3342まで

議会だより有料広告の募集

を行なっています。

○ 1型 46mm×88mm

○ 2型 46mm×176mm

ご希望の方は小松市議会事務局まで
お問い合わせください。



不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL0761-21-1122
中小企業診断士 竹内広幸 TEL0761-22-9990
社会保険労務士 谷口勇一 TEL0761-76-5503
税理士 行政書士 杉本昌之 TEL0761-24-3633
弁護士 中西祐一 TEL076-256-5413
弁護士 三輪哲也 TEL0761-43-0848
司法書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175
土地家屋調査士 行政書士



◆法律◆多重債務◆税金◆登記
◆年金◆会社設立◆相続 等
のご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

サポートネット 専門家による無料相談会

日時●5月14日(土) ●6月18日(土) 9時~11時30分 会場●小松商工会議所